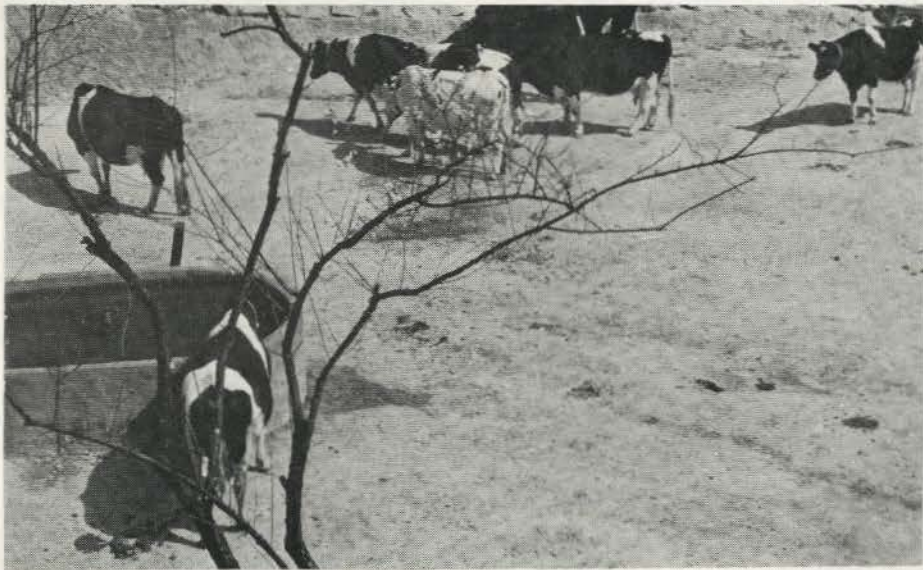


# 光市医師会報

昭和48年1月発行

No. 6



おのれに打ち克つのは  
勝利の最大なものである

プラトン

光市医師会

## 年頭のご挨拶

光市医師会長 林 孝之

明けましてお目出度うございます。  
新しい年が、光市医師会員の皆さまにとって希望のある、実りのある、幸せの年であることを心からお祈りいたします。

年が改まる毎に、今年こそは『何かよい事があるだろう』と期待を持ってみます。又、患者のためにも『何かよい事が』と願い、更に、医師会のことでも『何か』と希ってみます。しかし、過ぎた日々の中から案外にさしたることも残らずに一年が経ってしまうものです。けれども、人間の判断力というものはどうも不安定なもので、気温18度を、夏は涼しいと思い、冬は暖かいと感じます。同じものを同じ人間が二様に見ます。『よい事』についても同じことが言えるでしょう。だから、自分が『よい』と信じ、自分にそう言いかけさせることで『何かよい事がある』のかも知れません。

以前は、医師と患者との間には、医学のみを通しての、お互に直ちに心の通いあう幅の広い道があったと思いますが、国民皆保険の今日では、政治的、経済的、社会的な色々な因子が入りこんで、その間に溝を作ってしまう、健保法とか何々法といった法的な橋がかけられ、それを渡らなければ通い合うことができなくなってしまいました。しかも、この橋は年毎に狭ばめられ、更に、複雑な手数を経て渡らなければならないものになっていくし、この溝も次第に幅広く深いものになっていくようです。だが、このままではならない、何とかして以前のように、共々に、手を握りあえるように、隔たりのないものにしなければ

ならない。そうすれば、たとえ橋があっても、無いのと同じになると思います。

現在、激動の70年代という言葉が盛んに使われています。国の内外、等しく、全てが加速的に激しく流動していくようです。医療の世界においても同様で、地域社会との密接な関連を無視することは不可能であり、『成長より福祉へ』の流れの中で、益々、この事が重視されてきています。この激流に対処し得る力は、個々の診療室の中だけにあるのではなくて、医師としての自覚にたつ、地域のための、医師会本来の活動の中に在るのであり、会員の一人一人の総力が結集されたものであると思います。

この意味において、医師と医師、医師と地域の人々が、その出合を、打算を採らず、方便を捨て、真実と人間愛とで結びあい、一つ一つ大切に育てていくことが肝要であると思います。そうすれば、医師と患者とを隔てようとしているものは自から取り払われ、必らず、今年こそは『何かよい事があるだろう』という期待につながることでありましょう。

今年は丑の年。丑の様に、力強く、そして汗を流しながら、医の道一筋に、一日一日を積み重ね、光市医師会が会員の皆様にとってかけがえのない存在であるようにありたいと思っていますので、倍旧のご協力、ご鞭達を賜わりますよう衷心よりお願いいたします。

## 医師会月間行事

※12月12日(火) 定例理事会。於医師会館。

報告事項 (1)要望書提出の件。(2)盧先生の牛島診療所着任の件。(3)永年に亘る光市医師会の牛島診療協力に対し光市役所の謝意申出事項について。(4)忘年会の件。

※12月17日(土) 例会兼忘年会。於松屋旅館。

### 狂歌

### 約 束

K. K. 生

注謝せぬと母との約束楯にとり  
片麻痺の袖通してやるアフターサービス  
野良犬に顔見知りされる往診の道  
ブラジャーもとらねば診れぬと良心的医師  
臀筋注スカートまくってどぎまぎし

## 会員の異動

入 会 盧 潤 模先生

昭和47年12月7日入会

光市囑託 12月18日より牛島診療所勤務。



## 社会医療調査

昭和47年度の社会医療調査は未だ不明なので昭和46年度社会保険診療報酬請求明細書をもとに傷病、医療の状況(政府管掌健康保険)を明らかにされた社会医療調査結果は次の通りである。

総点数のうち一般診療が89.8%(45年度89.7%)、歯科診療は10.2%(同10.3%)となった。一般診療の内訳は、診察9.4%、投薬3.6%、注謝15.3%、理学療法0.4%、精神病特殊療法0.3%、レントゲン診断5.3%、検査6.2%、処置2.4%、手術1.9%、麻酔0.4%、入院12.3%となっており、診療行為の内容に前年度に比較して診療行為の内容に急激な変化はない。

此の内訳は、総点数に占める割合なので、一般診療分に引き直すと、投薬40.0%、注謝17.0%となり、いわゆる薬剤費が57.7%と一般診療の過半数を越す薬物依存の実態を浮き彫りにしている。また、一般診療の1件当たり点数は456.5点で前年度に比し1.7%増である。

内訳は診療48点、投薬183点、注謝77.7点、レントゲン27点、検査31.4点、処置12点、入院62.6点である。1件当たり点数の年次別推移をみると、41年度276.6点、44年度381.4点、45年度448.7点である。1点単価を固定した出来高払いの支払方式を続ける限り、医療費の不自然増をめぐる論議のタネはつきない。

(大野記)

## 蝶キチのたわごと

光製鐵所診療所 渡辺 幹

### (1) プロローグ

50近くにもなると坂道は実にしんどい。4本継7mの物干竿位の竹竿を担いで俺も齢だなと思いつつ、喘ぎ喘ぎ山道を登って行く内に、ぱったり土地のお百姓さんに出会う。やられるなど内心想いつつ会釈して擦れ違う途端やっぱりやられた。台詞は決っている。立留るとしげしげと担いでいる竿から足許迄視線が走る。世にも不思議な事に出會した顔付で。そしてお魚釣りなんですかとおいでなすった。無理もない疑問だ。既に道はとうに谷川から逸れて尾根に出ている。「はあ」と、軽く答えて逃げ様とこの時もしたけれど山地の人達はとても親切でおせっかい焼きで話し好きな方が多い。この人もそうだった。しばし御忠言を拝聴する仕儀と相成った。「ここからもう谷に下る訳にも行かないが、このまま峠に出て山向うに下りなされ、一里も下れば澤に出る。そこなら少しは山女魚が釣れましょう」。どうも有難うと礼を盡くしてお別れしたけどやはりあの人道々怪つたいな釣師も居るものだ、ちょっと頭がおかしいのではなかろうかと、心のどこかに引っかかるものを感じたかも知れない。こんな場合に正直に蝶を採ってますと答えてはいけない。相手が若い人か、学校の生徒以外は、本当の事でも言をうものなら大層うるさい事になる。「何にするのですか?」「何になりますか?」山のお百姓さんは実に好奇心が強い。中には何の薬になるのですかとこられる。無論蝶キチガイと云う病気の薬になりますので等答えたことはないけど、これ等の御仁にその主

旨をうまく納得させる事は容易な事ではない。標本にするためとか云っても駄目。分布調査とか生態研究等云ったら益々ややこしくなる。あれと同じですよ、それ、骨董とか切手を集めたり、盆栽を作って楽しむのと……。 「ほおー」と判った様な判らぬ様な返事をされた揚句、明らかにキチガイを見る目付でみつめられること請け合いです。だから本当の事は金輪際云ってはいけない。今度も私は言わなかった。

タオルで吹き出る汗を拭いつつ、10歩登って一呼吸、こんな繰返しが続く内に、ふと、何と因果な道楽に取り憑かれたものかと苦笑が思わずもれてくる。でも決して後悔の念はおきない。ただそこに山があるから登る等云う哲学的な人々と違って、そこにはちゃんとした目的があるのだから。地図を拡げてみると目的の樹林はもう近い。寧ろ心わくわく、まるで青春に返って恋人に会いに行く気持。これで目指す蝶をうまく捕える事が出来たら万々歳だ。そう思うと息切れが少々あっても苦にならない。因果な道楽に取りつかれて、私は幸福だったとさえ思う。

つい最近迄北九州に居た頃は、土曜日夕食後、ひょいと思いつくまま一人で愛車を駆って大隅半島突端の佐多岬迄屢々行ったものである。日曜日早朝到着すると約2時間車中仮眠した上で夕刻迄蝶を求めて走り廻りそのままノンストップで北九州の我が家迄車を走らせ、月曜日早朝帰着して、約2時間寝た上で出勤し普通の通り診療したものだ。往復800斤位あるだろうか。トラックの運ちゃん並

の馬力を持っていたが、このエネルギーの根源は蝶と云う唯一無二のLiebeがあったと云う事に盡きる。いつか女房が誰からか「お宅の御主人はとてもタフでいらっしゃるそうで結構ですわねと云われ、その時はあっけにとられていたけれどあとでこれこれしかじかで聞いて本当に恥ずかしかった。もうそんな人間離れのした体験談を人に話してはいけません。内心では軽蔑しているのですからと固く口留された。これは守らねばと思ってたが結局筆を滑らせて(?)。またこのことを人に話す仕儀となった。

—其の1終り—

(2) 蝶キチの言い訳

「ちょっと待って下さい。アフリカのアゲハが一風変わって面白いのですが生憎この山の一番下になってるから上から順にとり除けます。貴方は下で済みませんが受けて下さい」。とこれは前棲んでいた北九州の家での話。何しろ狭いので箱が増す毎に勢い縦に高く伸びていく。それも薄暗い3畳の間だ。電燈をつけ踏台に登って一箱宛根気よく下に降ろすのであるがお客の方は大変な迷惑だろう。でもお愛想でも蝶のコレクションを一度みせて下さいと言った手前、又最初の一箱をお世辞にでも美しいですねと賞めた手前もあればもう結構ですとは云いかねる事になる。既に2時間近く蝶の講釈。

日決定した。政管健保の「赤字」を国民の負担増しによる改悪として反対する野党との間に今次国会において大きな論議をよぶであろう。ところで1973年の幕あけにおいて各紙の社説の論調は高度経済成長の破綻による超インフレと国民生活の混乱を指摘している。「毎日」は「肥満児日本への警告—量から質への革命の変革」、「続読」は「これからの世界と日本の課題—国際的信用を高める努力」、「朝日」は「憂慮と期待と題して(いま吾が国が直面している大きな深い変化にたいして、政治、経済をあづかる人たちが、真っ向からこれに挑戦する気はくりに欠け、従来の惰性そのまま行動しているのではないか)」と内閣や企業の社会的責任を追求している。

以上のように何れも危機感を訴えているのが特徴である。本年度は「福祉日本」、「福祉列島」の建設が一大キャンペーンとなっているが、「列島改造」政策を「列島改造の打ち出し方の不手際などに伴うインフレ・マイドの横行(日経)、生産第一主義が公害をばらまき市民生活を破かい(毎日)、「保守党政治が大企業、大資本の上に立っていることは隠れもない事実(朝日)などと各紙共手きびしい批判を行なっている。

諸物価高騰超インフレ傾向の強い此の頃医療経営も世間で考える程甘くもないし、益々困難な様相を増してくるに違いない。本年度こそ実のある診療報酬改正を期待する。

冬梅の既に情を含みをり

虚子

あ と が き

厚生省は保険料の引き上げと給付改善をだきあわせた健康保険制度の改正政府原案を5

# 山口銀行

光支店 島田市支店 室積支店

動脈硬化性諸疾患の治療に  
優れた作用を持った新薬を開発！



脂質代謝改善剤

**コレキサミン<sup>®</sup>錠**  **キョーリン薬品**

[2, 2, 6, 6-Tetrakis (Nicotinoyloxymethyl)cyclohexanol]

一般名 (I.N.N.) : ニコモール (Nicomol)

東京都千代田区神田駿河台 2-5

血圧降下剤

**エルドパン錠**

**ELDOPANE. Tab.**

成分 L- $\alpha$ -メチルドパ

〔適応症〕 腎性高血圧症、本態性高血圧症、**トーコー薬品**  
悪性高血圧症

山口県光市正門町 514

|     |   |
|-----|---|
| 発行所 | 光市小周防 1633 の 2 林医院内<br>光市医師会<br>TEL 0833 (91) -0519 |
| 発行者 | 林 孝之  |
| 編集者 | 会報編集委員会   |
| 印刷所 | 光市御崎町<br>中村印刷株式会社                                   |